

市政について  
問う！

# 一般質問

第十一回（十一月）定例会では、十四人の議員が市政について質問しました。



全ての質問項目（通告一覧）はこちら

議員名	主な質問項目	掲載頁
加藤 明子	市長の政治姿勢、市政運営の評価、2期目への決意表明	4
市川 道隆	鉄道高架事業、中心市街地まちづくり戦略	4
井原三千雄	緑と公園、海岸と千本松原、観光プロモーション活動	5
渡邊 博夫	コロナに負けない行財政運営、DXの推進、DXの人材育成	5
小泉 宣子	スクールカウンセラー、ひとり親家庭への支援	5
平野 謙	パートナーシップ制度導入に向けての検討状況	5
尾藤 正弘	「障がい」表記の使用、自転車通行空間の整備、償却資産申告	6
霞 恵介	学校トイレの環境整備	6
梶 泰久	学校統合、第一・第二中学校区、学校規模・学校配置、方針廃止	6
渡部一二実	防災力向上施策、上水道事業の高度化施策	6
川口 三男	人口減少に伴う本市のまちづくりの在り方	7
山下富美子	第一・第二中学校区の学校統合問題、地域との合意形成	7
江本 浩二	子宮頸がんワクチン接種	7
梅沢 弘	鉄道高架事業、財政リスク、シビックプライド、自治基本条例	7

※議員名の下にQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像が視聴できます。

※文面中の波線（~~~~~）については、P.8の用語解説を御覧ください。

## 中心市街地まちづくり戦略の取組状況は

**問** 令和二年三月に中心市街地まちづくり戦略が策定され、沼津駅周辺総合整備事業の本格展開と併せて実施すべきまちづくりの施策の方向性が示されたが、その後の取組状況は。

**答** 都市計画部長／沼津駅周辺総合整備事業は事業期間が長期にわたるため、中心市街地まちづくり戦略に掲げる中期のまちの姿の実現に向け、戦略の柱のうち、短中期で取組が可能な「ヒト中心の公共空間の創出」及び「まちなか居住の促進と市街地環境の向上」について、まちなかにおける歩行者の回遊状況や都市空間

の調査・分析を行うとともに、リノベーションまちづくりの推進や、低未利用地の利用転換等に向けて所有者に対する活用意向調査を行った。

**問** 令和三年二月に用地取得が完了した新貨物ターミナル整備の状況は。

**答** 市長／新貨物ターミナルの整備状況は、令和三年度中に県と行う埋蔵文化財調査を完了させるほか、鉄道施設工事に先駆け、令和四年一月に基盤を整える造成工事及び附帯する調整池築造工事に着手する。今後とも早期完成を目指し、県と連携して全力で事業の推進に取り組んでいく。

市川 道隆



## 今後の市政に対する市長の考えと2期目への決意は

**問** 令和四年四月二十八日の市長の任期満了を見据えた今後の市政に対する考えと2期目への決意は。

**答** 市長／市長就任後の三年余りは、新型コロナウイルス感染症の拡大や令和三年七月の豪雨など、予期せぬ事態に見舞われたが、活力あふれるまちづくり、いきいき暮らせるまちづくり、魅力輝くまちづくりの三つの重点施策に全力で取り組んできた。今後の市政運営においては、第五次沼津市総合計画に基づき、新総合体育館の供用開始及び新中間処理施設の造成工事が着手、子育て支援策の拡

充等による定住人口の確保、スポーツツーリズムの拡大等による交流人口の拡大、沼津産品のブランド化や就職・転職への支援による産業の振興、津波避難設備の整備等による安全・安心の確保など、様々な施策を推進していく。また、令和五年には市制施行百周年を迎えるという歴史的な節目において、市民の負託を受けられることができるならば、コロナ対策を念頭に置きつつ、引き続き市政運営に全力を投入し、誇り高い元気なまち沼津の実現のために、全身全霊を傾け取り組んでいく。

加藤 明子

